

授業科目

医療情報学特論II

担当教員名 瀧口 徹、石上 和男、柴山 純一、寺島 和浩、井上 弘樹、 本間 久文、張 国珍、高橋 直樹、近藤 正紀、西村 宏子、 野水 弘祐	対象学年	1	対象学科	保健学・健康科学・ 社会福祉学・医療情報
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

授業の概要

医療情報学特論1のアドバンスコースに位置づけられ医療情報学に関するより高度な基本事項の確認と技術の授業

授業の目的

医療情報学特論1のアドバンスコースに位置づけられる医療情報学に関するより高度な基本事項の確認と技術の取得
医療情報処理に関する論文に必要な（より高度な）事項の習得と習熟

学習目標

1. 医療情報処理を支えるより高度な事項を学ぶ
2. データ収集、解析を行うことに必要な（より高度な）コンピュータ操作を習得する
3. より高度な統計処理法（ソフト操作法）を取得する
4. 医療現場で用いられるより高度な医療指標（クリティカル・パスを含む）についての理解を深める
5. より高度な医療情報処理法を学ぶ
6. 学術論文の書き方（英論文を含む）を学ぶ

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	院2年生の中間発表予行演習への参加	※例年 9月の第1週より開始し、12月中に終了する	瀧口 徹 他
2	クリニカルガバナンスの医療情報処理部分	医療情報処理部分： クリティカル・パス、クリニカルオーデット	瀧口 徹 他
3	統計検定法2 その1	統計分析フローチャート	瀧口 徹 他
4	統計検定法2 その2	統計分析フローチャート	瀧口 徹 他
5	統計検定法2 Analysis その3 Trend	Mantel-Haenszel test, Mantel extension test, Cochran-Armitage trend test	瀧口 徹 他
6	統計検定法2 Analysis その4 Trend	ANOVA:分散分析, ANCOVA:分散共分散分析	瀧口 徹 他
7	統計検定法2 Analysis その5 Trend	重回帰分析、多重ロジスティック解析	瀧口 徹 他
8	統計検定法2 Analysis その6 Trend	重回帰分析、多重ロジスティック解析	瀧口 徹 他
9	統計検定法2 その7	主成分分析、(探索的)因子分析	瀧口 徹 他
10	統計検定法2 その8	特殊な統計学 地域集積性	瀧口 徹 他
11	統計検定法2 その9	心理測定法 その1	高橋 直樹 他
12	統計検定法2 その10	心理測定法 その2	高橋 直樹 他
13	統計検定法2 その11	ベイズ統計学の保健医療への応用	井上 弘樹 他
14	統計検定法2 その12	ベイズ統計学の保健医療への応用	井上 弘樹 他
15	統計検定法2 その13	質的分析（内容分析）概論	瀧口 徹 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	疫学マニュアル 改訂7版	柳川 洋、塚田清美	南山堂	2012年	4,410円+税	
	疫学事典 第5版 日本疫学会誌	Miquel Porta	日本公衆衛生協会	2010年	3,500円+税	

	EZRでやさしく学ぶ統計学	神田善伸	中外医学社	2012年	4,600円+税
その他の資料	専攻長編纂 Google drive 疫学&統計reference https://drive.google.com/drive/folders/0B3PYdxQv0EWiWlJhN2hVeUVzSDg?usp=sharing				

評価方法

複数回レポートを提出する方法または口答諮問で評価

履修上の留意点

1. 講義日・時限：毎週木曜日 6限（6:10-7:40）
2. 講義室： IA513
3. 特論Iの留意点に加えて
修士論文の計画書とリンクした学習をすること（一般的に必要なことと、自分の研究に必要なことを峻別して重点学習すること）
- 2) 専攻長編纂の共通統計資料の利用
Google drive 疫学&統計reference
<https://drive.google.com/drive/folders/0B3PYdxQv0EWiWlJhN2hVeUVzSDg?usp=sharing>

オフィスアワー・連絡先

瀧口徹：IA511 takiguchi@nuhw.ac.jp TEL 025-257-4535 水曜日を除くWEEK DAY AM9:30-PM7:00